

やまぐちの ふくし



社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
総務企画部 総務班

〒753-0072 山口市大手町9番6号

TEL:083-924-2777 FAX:083-924-2792

Email: ygshakyo@orange.ocn.ne.jp

URL: http://www.yamaguchikensyakyo.jp

令和4年10月1日発行

県社協ニュース“やまぐちのふくし”では、毎月1回発行し、制度や施策の動向など、随時情報提供していきます。



「やまぐちのふくし」の表紙写真を募集しています。詳しくは、総務班までお問合せください！



トピックス

令和4年度福祉研修センター 研修のご案内	2
「山口県福祉サービス運営適正化委員会」委員の選任について	3
令和4年度 福祉マンパワー事業 2次募集のご案内	4
福祉のしごとインターンシップ事後学習会の開催について	5
令和4年度版「アクティブシニア応援プログラム」について	6
関係団体からのお知らせ	7



山口県社協からのお知らせ

☆令和4年度福祉研修センター研修のご案内

🍀10月に申込開始の研修の御案内🍀

福祉研修センターのホームページ (<http://yg-fkc.com/>) に随時、開催要項を掲載しますので、御確認ください。

申込み方法が研修によって異なりますので、御確認の上お申込みください。

なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止や延期となる可能性があります。中止及び延期は、ホームページにてお知らせします。

No.	研修名	研修開催日		申込開始日	申込締切日
1	児童福祉施設基礎コース (新任職員研修)	【フォロー】	11/7(月)	10/3 (月)	10/24 (月)
2	子どもを取り巻く課題研修	11/7(月)		10/3 (月)	10/24 (月)
3	要保護児童対策地域協議会連携強化研修	中央/宇部圏域 【第2回】	11/8(火)	10/4 (火)	10/25 (火)
4	老人福祉施設基礎コース (新任職員研修)	【フォロー】	11/10(木)	10/6 (木)	10/27 (木)
5	保育所経営課題対応研修 (施設長研修)	11/21(月)		10/3 (月)	10/24 (月)
6	児童福祉司キャリアアップ研修 (新任)	【第2回】	11/25(金)	10/21 (金)	11/11 (金)
7	職場研修担当職員研修	11/29(火)~30(水)		10/25 (火)	11/15 (火)
8	児童心理司キャリアアップ研修 (中堅以上)	12/2(金)		10/28 (金)	11/18 (金)
9	保育士等キャリアアップ研修 乳児保育研修	【第1回】	12/5(月)・ 12(月)	10/17 (月)	11/7 (月)
		【第2回】	12/13(火)~ 14(水)		
10	認知症対応型サービス事業開設者研修	1/11(水)		10/26 (水)	11/16 (水)

◆問合せ先

福祉研修部（福祉研修センター）

☎083-987-0123

<http://yg-fkc.com/>





「山口県福祉サービス運営適正化委員会」委員が選任されました！

委員会委員の任期満了に伴い、山口県福祉サービス運営適正化委員会選考委員会を経て、今期の委員が選任されました。また、9月12日に開催された本会議において、正・副委員長及び委員の所属部会（「運営監視部会」「苦情解決部会」）が決定しました。

委員の任期は、令和4年8月22日から令和6年8月21日までの2年間です。

分野	所属団体	氏名	運営監視	苦情解決	備考	
法律	山口県弁護士会	板村憲作	○			
		通山和史		○		
	日本公認会計士協会中国会 山口県部会	古林照己		○		
医療	一社)山口県医師会	前川恭子		○		
	山口県精神科病院協会	高橋俊文	○			
	山口県精神保健福祉士協会	赤瀬洋介		○		
福祉	公益	学識経験者 (山口県立大学名誉教授)	草平武志	○		委員長
		宇部フロンティア大学短期大学部	近藤鉄浩		○	副委員長
		社福)山口県共同募金会	大窪正行	○		
		山口県民生委員児童委員協議会	竹本新助		○	
		一社)山口県社会福祉士会	橘康彦		○	
		一社)山口県介護福祉士会	安田国彰		○	
	利用者	公社)認知症の人と家族の会 山口県支部	佐伯映子	○		
		一財)山口県手をつなぐ育成会	池田朝子	○		
		山口県精神保健福祉会連合会	宮川芳恵	○		
	事業者	山口県老人福祉施設協議会	辻中浩司	○		
		山口県障害福祉サービス協議会	古川英希	○		
		山口県身体障害者施設協議会	津田安史	○		
合計		18名	10	8		

◆問合せ先 山口県福祉サービス運営適正化委員会事務局
TEL (083) 924-2837 FAX (083) 924-2793






令和4年度 福祉マンパワー事業 2次募集のご案内

募集締切 令和4年10月31日(月) ※必着

山口県福祉人材センターでは、今後ますます増加していく福祉・介護ニーズに的確に対応するため、業務に関する資格取得や自己啓発のための研修受講等の経費を助成することで、社会福祉施設等従事者の養成、確保、定着を支援する「福祉マンパワー事業」を実施しています。

現在、令和4年度助成金交付先（2次募集分）を募集していますので、是非、ご活用ください。

	人材養成事業 (個人への助成)	人材確保・定着化支援事業 (法人等への助成)
概 要	山口県内で民間の社会福祉施設等の職員が、業務に関する資格取得や自己啓発のために必要な研修の受講等をされる場合に、その経費を助成します。	山口県内で民間の社会福祉に関する事業を行っている法人が、福祉職場へ就職を希望する者や働く者にとって魅力ある職場づくりを行う場合や、職場内研修を行う場合にその経費を助成します。
助 成 対 象	<p>山口県内で民間の社会福祉施設にお勤めの職員の方</p> <p>業務に関する資格取得や自己啓発のために必要な研修の受講料（テキスト代金）、旅費及び宿泊料</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 2px solid yellow; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-right: 20px;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">助成上限 5万円</p> </div>  </div>	<p>山口県内で民間の社会福祉事業を行っている法人</p> <p>①魅力ある福祉職場モデル事業 福祉職場へ就業を希望する者や働く者にとって魅力ある職場づくりに必要な環境整備などの工事費、修繕費等</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 2px solid yellow; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-right: 20px;"> <p style="color: green; font-weight: bold;">助成上限 10万円 (補助率 1/2)</p> </div> </div> <p>②人材養成研修支援事業 事業所が企画する職場内研修の実施に必要な外部講師の謝金、旅費等</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 2px solid yellow; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-right: 20px;"> <p style="color: green; font-weight: bold;">助成上限 5万円</p> </div> </div>
	<p>令和4年4月1日以降に開催・実施され、令和5年2月3日までに実績報告ができる研修・事業</p> <p>※国・県等の同様の助成事業とは併用できません！！</p>	
助 成 例	<p>認知症介護実践研修</p> <p>知的障害者援助専門員養成通信教育 等</p>	<p>①職員休憩室改修、ユニフォーム作成 等</p> <p>②職場の接遇研修、オンライン講 等</p>
申 込 方 法	<p>申請書に必要書類を添付の上、山口県福祉人材センターまでお申し込みください。</p>	

※実施要項、申請書類のダウンロード等、詳しくは山口県福祉人材センターのホームページにてご確認ください。(yamaguchi-fjc.jp/support/)

◆問合せ先：福祉人材部（山口県福祉人材センター）

TEL：083-902-2355



福祉のしごとインターンシップ 事後学習会 を開催しました

山口県福祉人材センターでは、進路選択や就職活動を控えた学生の皆さんに社会福祉施設等の職場を体験する機会を提供し、実際の福祉職場での体験を通じて福祉の仕事への興味や理解を深めていただくとともに、福祉の仕事を進路選択の対象の1つに加えていただくことを目的に「福祉のしごとインターンシップ事業」を行っています。

9月24日（土）、インターンシップに参加された学生の皆さんが zoom によるオンライン上で集い、「福祉のしごとインターンシップ」の事後学習会を開催しましたので、その様子をご紹介します。

今年度のインターンシップは、当初、47名の参加申込をいただき準備を進めていきましたが、新型コロナウイルス流行の第7波と重なったため、学生の受入を中止する施設が相次ぎ、また体験直前に感染が確認され参加を断念した学生もいるなど、中止・辞退者が16名にも及びました。

このような状況でしたが、インターンシップを実施することができた学生25名（大学生8名、高校生17名）の参加を得て事後学習会を開催することができました。

当日は、学校法人 YIC 学院の川路澄子先生の進行により進められ、最初に福祉の仕事について改めて全員で再確認した後、青藍会グループ 老人保健施設ハートホーム山口の介護職員岡大貴さんと社会福祉法人暁会 障害者支援施設フェニックスの生活支援員 阪下万由子さんのお二人から、“若手職員”という立場から現在の仕事への思いや今後の目標などをお話していただきました。続いて、6つのグループに分かれて、各自が体験した施設や仕事の内容、インターンシップ体験で得ることのできた思いなど5つのテーマに沿ってグループディスカッションを行いました。

各グループのリーダーは、オンライン授業に慣れている大学生が務めてくださいましたが、どのグループでもメンバーの話を上手にまとめながらリードする頼もしい姿が見られました。高校生もディスカッションを重ねていくにつれて発言が増えていくのが分かりました。

学習会終了後のアンケートでは「参加しないと感ずることができない大変さや達成感を学ぶことができた」「違う体験先の人達と情報交換ができ非常に有意義な時間を過ごせた」等の感想をいただくことができ、参加された皆さんが今回の体験を通じて、福祉への思いをより確かなものとし、ご自身の成長につなげていただく良い機会とされている様子がうかがえ、スタッフ一同嬉しく思っております。

今後も、オンラインなどの新しい技術も用いつつ、より安全・効果的にインターンシップの学習会が実施できるよう、取組を進めてまいります。



川路澄子先生



グループディスカッションの様子

◆問合せ先：福祉人材部（山口県福祉人材センター）

TEL：083-902-2355 FAX：083-902-5877

詳しくはホームページをご覧ください。



令和4年度版「アクティブシニア応援プログラム」 を発行しました



山口県では、高齢期を迎えても、健やかで自立した生活を送り、さまざまな分野でいきいきと活躍できる「生涯現役社会」の実現に向け、産学公連携のもと一体となって総合的な運動の展開を図るため、生涯現役社会産学公推進協議会（以下「推進協議会」という。）を設置し、本会が事務局を設置しています。

このたび、推進協議会では、地域で活躍するシニアの学びを支援するため、令和4年度版「アクティブシニア応援プログラム」を作成しましたので、お知らせします。



【内 容】 推進協議会の構成団体を中心に、県や市町行政、市町社会福祉協議会、市町老人クラブ連合会等が実施する県民向けのセミナーや研修会等（令和4年10月～令和5年3月まで）の情報を幅広く収集し、目的・分野別等で整理を行い、プログラムとして編成しています。

下記リンク先よりダウンロードいただけます。

<http://geneki.jp/download/>



【参加費】 一部有料のものがありますので、プログラムをご確認ください。

【申込方法】 プログラムに掲載していますのでご確認ください。



◆問合せ先

地域福祉部 生涯現役推進班
（生涯現役社会産学公推進協議会 事務局）
TEL：083-928-2385
FAX：083-928-2387
E-mail：syougaieneki@yg-you-i-net.or.jp





関係団体からのお知らせ



令和4年度赤い羽根共同募金運動がスタートします。

今年で76回目となる、令和4年度赤い羽根共同募金運動が、10月1日（土）から令和5年3月31日（金）までの期間でスタートします。



共同募金運動とは？

共同募金運動は、じぶんの町の様々な福祉課題の解決に取り組む民間団体の活動を住民自らが財源面で応援することを目的とする国民運動です。

集まった募金は、高齢者・障がい者の支援活動への助成をはじめ、経済的困窮や社会的孤立の状態にある方々、ひきこもり・虐待など生活課題を抱えた方々などを支援する活動への助成に活用されています。

また、コロナ禍が長期化する中、困窮・孤立する家庭が増加・固定化していくことが強く憂慮されるため、「赤い羽根 ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン」を実施し、地域で生活に困難を抱える方々を応援しています。

さらに、全国各地で発生している地震や大雨による洪水、土砂災害等の被災者を支援するボランティア活動の応援など、災害支援・救援活動支援金としても共同募金は大きな役割を果たしています。



さまざまな募金活動の展開方法

「戸別募金」：自治会の方々や募金ボランティアの皆さんが地域の各家庭への訪問等により募金を呼びかけます。

「街頭募金」：街角や人の集まる場所で募金を呼びかけます。

「法人募金」：企業等を訪問して寄付を依頼します。

「職域募金」：企業等の従業員の方に職場での募金を呼びかけます。

「学校募金」：学校において児童・生徒に募金を呼びかけます。

「イベント募金」：イベントを企画して募金を呼びかけます。

その他、ガチャガチャ募金などさまざまな方法で募金へのご協力をお願いしています。

共同募金運動に御協力いただきますようお願いいたします！

◆問合せ先
社会福祉法人 山口県共同募金会
TEL083-922-2803 FAX083-922-2809
ホームページ <https://www.akaihane.net/>

スマホからも、
募金できます。



令和4年度

新型コロナウイルスを含む特定感染症に対し、
新たなオプションが追加されました

ホームページでも内容を紹介しています
https://www.fukushihoken.co.jp



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

1 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額			
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)	
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 施設の医療事故補償
 - ・ 医務室の医療事故補償
 - ・ 看護職の賠償責任補償
- オプション3 ● 施設の借用不動産賠償事故補償
- オプション4 ● クレーム対応サポート補償
- NEW**
- オプション5 ● 施設の感染症対応費用補償
休業補償から各種対応費用までワイドな安心
 - ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
 - ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
 - ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

- 2 個人情報漏えい対応補償 3 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- 1 入所型施設利用者の傷害事故補償
- 2 通所型施設利用者の傷害事故補償
- 3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- 1 職員の労災上乗せ補償
 - オプション：使用者賠償責任補償
- 2 役職員の傷害事故補償
- 3 役職員の感染症罹患事故補償
- 4 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03(3349)5137

受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03(3581)4667

受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)